

参加者
募集

海外登山隊 #3 クロニクル **3** ザ・エクスペディション・デー

THE EXPEDITION DAY

日時：2010年9月11日(土) 13:30～

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター



山にもいろんなスタイルがあります。

澄んだ空気の中で風光明媚を愛でつつ一步一步頂上を目指す、山登りやハイキングを愛好する多くの方がいる一方で、ヒマラヤの未踏峰を好み、誰も登ったことがない壁にラインを描こうとする人。絶対的な標高差のある急峻な雪壁を滑り降りる人。岩にボルトなど一切の人工物を使わず登る、トラッドクライミングを極めようとする人。そこには岩と自分しか存在しません。また、何日もかけて山を走り抜ける人やスキーを使ってレースをする人たち……。

これらの分野において、世界的に活躍している若い日本人がいることを知っていますか？

彼らの山に対するアプローチはさまざまですが、自分自身の限界にチャレンジする姿勢には共通する何かを感じることが出来ます。本フォーラムでは、何が彼らをextreme(極限)に駆り立てるのか、心の奥底を語ってもらいます。



平出 和也

大学山岳部で本格的に登山を始め、数々のヒマラヤの未踏峰や大きな壁を登るなどの活躍をするクライマーとなる。谷口とともにカメット南東壁初登攀(インドヒマラヤ)で、日本人初のピオレドール賞(仏の「金のピッケル」賞)受賞。山岳スキー競技にも参戦。



谷口 けい

女性初のピオレドール受賞者。アドベンチャーレースからヒマラヤクライミング、マウンテンバイクなど幅広く活動してきた。心から登山と旅が好きで、その根底には好奇心と冒険心がある。今年は、ピオレドール審査員も務め、各国のクライマーと交流を図った。



佐々木 大輔

世界各地の大雪山を滑るビッグ・マウンテンスキーヤーとして世界のトップクラス。グリーンランドやパタゴニアのフィヨルドをシーカヤックでめぐりながら雪山を見つけて滑るなどの旅心も。山をフィールドにしたオールラウンドな活動を続ける。職業は山岳ガイド。



佐藤 佳幸

アドベンチャーレースなどに打ち込み、日本では山岳スキー競技が知られていないことから欧州のレースを転戦してきた先駆の実力者。現在は、幅広い経験をもとに、アウトドアスポーツの魅力の人々に伝えるべく映像カメラマンとして活動。



間瀬 ちがや

夫と息子と娘と暮らすママさんランナーといえ聞こえはソフトだが、トレイルランニングの女王。日本アルプスを走り抜けるレースでは、男性を抑えて優勝するなど度胆を抜く。近年は、海外のレースや山岳スキー競技にも出走し、優勝・上位入賞などの成果を挙げる。



中嶋 徹

クライミング一家に育った驚異の高校生。トラッドクライミング(岩に一切の手を加えず自然の状態に登る)という日本では少数だが、しかし本来的な分野で活躍。国内はもとより昨年単身で渡った英国でも難関ルートに多数成功。各国から高い評価を集める。

THE EXPEDITION DAY プログラム (敬称略)

- 13:15 開場
 13:30 主催者あいさつ
 13:40 エッジなクライマー+山岳スキーヤーによるトークライブ
 ①「世界で出会った山と仲間たち」 平出和也+谷口けい
 ②「山とスキーに極限を求めて」 佐々木大輔
 ③「山を走ること、スキーで走ること」 佐藤佳幸+間瀬ちがや
 ④「トラッドクライミングの喜び」 中嶋 徹
 15:30 出演者全員によるディスカッション
 「なぜあなたはextremeにチャレンジするのか」

(司会:山岳ライター・柏 澄子)

16:30 終了予定

お申し込み方法

ハガキ、ファックス、またはインターネットからお申し込みください。それぞれ①お名前(ふりがな)②郵便番号③住所④電話番号⑤年齢⑥職業⑦参加人数⑧出演者に訊いてみたいこと、を明記のうえ、下記お申し込み先までお送りください。QRコードを利用して携帯電話からもお申し込みいただけます。

【お申し込み先】

《ハガキ》〒100-0003東京都千代田区一ツ橋1-1-1
 毎日企画サービス「エクスペディションデー」係

《ファックス》03-3212-0405

《インターネット》<https://www.mainichi-ks.co.jp/form/mt1009/>

◎定員=300名 ◎参加費=500円

◎締め切り=8月30日(月)必着

※応募者多数の場合には抽選を行い、当選された方に参加証を送付します。



【お問い合わせ先】

毎日企画サービス「エクスペディションデー」係
 《電話》03-3212-2271

会場案内



※お送りいただいた個人情報は本イベント「海外登山隊クロニクル」シリーズ開催以外の目的では使用しません。

海外登山隊クロニクル シリーズ年間スケジュール

イベントタイトル	日時・会場	内容・プログラム(敬称略)
THE EVEREST DAY	2010年4月24日(土) 終了しました	日本人が世界最高峰エベレストに初登頂して40年。当時の日本山岳会エベレスト登山隊のメンバーやその後のエベレストサミッターが、エベレストについて語る。
THE UEMURA DAY	2010年7月24日(土) 終了しました	冒険家植村直己について、当時親交のあった関係者が語り、また時代を担う冒険家たちが今後の冒険の可能性を探る。
THE EXPEDITION DAY	2010年9月11日(土)	エキストリームな山にチャレンジし続ける日本人の若いクライマーやスキーヤーたちによるトークライブ。 (資料代として会費500円)
ザ・ヒマラヤ・デー THE HIMALAYA DAY (兼・第24回海外登山女性懇談会)	2010年12月5日(日) (13:30~17:00) 国立オリンピック記念 青少年総合センター	◎トークショー 「K2、マナスルなどヒマラヤ各峰の魅力を探る」 ①冬季サガルマータ南西壁隊 ②日本チョモランマ登山隊1980 ③日本女子マナスル登山隊1974の記録 ④まとめ:データーから見たヒマラヤ登山隊ほか予定 (資料代として会費500円)
ザ・ドキュメント・デー THE DOCUMENT DAY	2011年1月16日(日) (9:00~19:00) (会場未定)	◎山岳ドキュメンタリー映像の上映会 ①マナスルに立つ/ヒマラヤ8000m峰、最初の登山隊 ②白き氷河の果てに/世界第二の高峰に挑む、日本K2隊の記録③ナンダゴット登山隊の記録、その他上映フィルムの公募を行います。 (資料代として会費500円)

※上記は予定であり、内容は事前のお断りなく変更させていただく場合があります。

出演者に
訊いてみたいこと、
ドシドシお寄せください

<http://theexpeditionday.blog118.fc2.com/>

THE EXPEDITION DAY
ブログ開設中!!